

キク(アナスタシア)
Dendranthema grandiflora
 (キク科)

‘神馬’‘岩の白扇’などと同じ輪ギクであるが、花色や花形などから、近年、仏花のイメージを払拭した新しいタイプとして栽培されている。これまでの輪ギクの蕾に対して、満開で出荷されるので、輸送中に花卉が傷みやすい。水あげ、日持ちはよい。生け花中に、茎が腐ったり、下葉が枯れ上がったりする。

日持ち終了の主な症状は、花卉の萎凋と葉の黄変である。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
開花	A: 舌状花の花弁が立ち上がる B: 外側の花弁が展開する C: 内側の花弁が展開して、露芯する D: 落弁する	
舌状花の褐変	A: 発生なし C: 花卉の一部に褐変(しみ)が発生する D: 褐変が広がる	
舌状花の萎れ	触ってみて、 A: 張りがある B: やや軟となる C: 軟らかくなる D: 軟らかくなり、萎れる(垂れる)	
葉の萎れ	触ってみて、 A: 張りがある B: やや軟となる 視覚的に、 C: 萎れるが、切り戻すと回復する D: 萎れて垂れ下がり、切り戻しても回復しない	
茎葉の黄変・褐変	A: 黄変・褐変の発生なし(緑色) B: 下位葉に黄変が発生する C: 中位より上の茎葉に黄変・褐変の発生が始まる D: 茎葉の1/2以上が黄変し、下葉が枯れ上がる	黄変の発生には品種間差が大きい
その他	灰色かび病、虫害、茎基部の腐りなど	ダニの発生に注意する。後処理剤を用いた場合には茎の腐りは発生しない

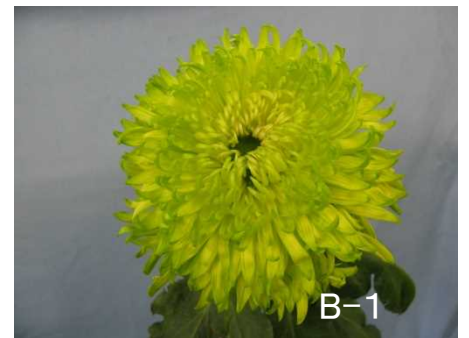
2) 留意点

下葉は十分に取り除いて、いけ水につからないようにする。

乾式輸送後の強く萎れた切り花は、あらかじめ水で水あげを行った後、後処理剤の溶液に移して品質評価を開始する。

多湿下で灰色かび病が発生しやすい。

3) 開花



4) チェック項目

花の老化



葉の老化

